



富士森

東京都立富士森高等学校同窓会報

東京都立富士森高等学校
同窓会報 (No.10)

発行日 平成17年4月1日
編集 富士森高等学校同窓会
住所 〒193-0894
八王子市長町420番地2
都立富士森高等学校内
TEL 0426-61-0444
<http://www.fujimori-ob.com/>



時とともに...

校舎風景

左/平成になって
下/昭和50年代



「重点支援校」の指定を受けて
母校富士森高校は変わります。

富士森高等学校校長

佐藤 公作

本校は、今までの取り組みが評価され、平成十七年度から平成十九年度まで「重点支援校」として指定されました。「重点支援校の指定」は、東京都教育委員会の施策のひとつで、「自律的

平成17年度総会のご案内

日時 5月29日(日)
午後1時～ 吹奏楽部演奏
午後1時30分～ 校内案内
午後2時30分～ 総会・懇談
会場 母校多目的ホール
会費 無料

クラスメイトやクラブの先輩・後輩をお誘い合わせのうえ、ご参加ください。アジアドのパンを食べながら、楽しく歓談しませんか。

な改革を進めている学校や改善への取り組みに成果をあげている学校を指定することで、学校の個性化・特色化を一層促進しつつ、他の都立高校へも自律的改革の波及効果を生み出し、都民に信頼される魅力ある都立高校づくりを進める。」という趣旨で行われているものです。

「重点支援校」に指定されたことで、本校はこれから以下のような支援を受けることとなります。

①「人」の支援：公募制による人材の配置等
②「物」の支援：施設設備の優先的処置等
③「金」の支援：予

算の重点配布④「指導」の支援：各種研究校への指定や教育活動への具体的な指導助言

昭和十六年八王子市立高等女学校を前身としている本校は、保護者や地域からは伝統と実績がある穏やかで落ち着いた学校としての評価があり、高校改革が進む中、地域に根ざした学校として存続しています。生徒や保護者からは「希望する進路の実現」と「健全な人間関係の確立」、「楽しさと成就感のある高校生活」への期待が多く寄せられています。そこで、富士森高校生一人一人が本来もっている潜在的な能力や将来の可能性（Potential-Ability）を伸ばし、人間



▲ 校長室にて

性を高め、多様な進路実現に際する教育計画をF.A達成プランとして策定しました。この「F.A達成プラン」

は、生徒が学習等に対して実力をつけ、自らの可能性を見出し、自信を持ち、進路希望の実現を目指すプランです。これに基づく重点的な教育活動が重点支援校の内容で、概要は以下のとおりです。

□ 学習指導の充実と学力の向上

生徒に自分の学習上の課題を発見させるとともに学習への展望と意欲をもたせ、希望する進路を実現する。そのため、実力がつく授業への改善。さらには、日常的な補習や長期休業中の進路指導等により受験に対応できる学力を身につける。

□ 希望する進路の実現

進路指導部・学年の連携を中心に三年間を見通した系統的な進路指導を行う。そのため、分野別進路ガイダンスや大学等による模擬授業を充実したり、大学との連携を進める。

□ 部活動・学校行事など特別活動の活発化

部活動への加入を促し、活動の参加率を高めるなどして、部活動を活発にする。また、生徒会や各種委員会等の自治的活動に積極的に参加させ、学校生活を高める態度を育成する。体育祭や歩行会、文化祭などの

行事においても生徒に工夫させ、富士森高校生としての自覚と誇りを高める。

役員紹介

名譽会長 佐藤公作校長

会長 長谷川隆司（四十一年卒）

副会長 水越幸雄（四十三年卒）

幹事 菱山寛治（四十四年卒）

小石京子（三十八年卒）

福田文夫（三十三卒）・須藤浩（五

十年卒）・秋山達夫（四十一年卒）

東浦由理夫（五十八年卒）・根本

猛（日八年卒）・長島光男（日八

年卒）・山田賢一（日八年卒）

會計 馬場幸枝（四十四年卒）

近かおる（五十四年卒）

監査 松坂章二（四十五年卒）

錦織政晴（四十六年卒）

□ 地域との連携による開かれた学校づくり

生徒とPTAによる「花いっぱい活動」や「三者懇談会」、地域の高齢者との世代間交流等を継続発展させるなどして、生徒・保護者・地域と学校との連携を強める。

これらを実現するために、卒業生の皆様のご理解とご支援・ご協力をよりしく願います。すなわち、伝統ある同窓会を通して、実社会で活躍の皆様の指導者としての人材情報ネットワークづくり、地域や同窓会等がボランティアとして学校をサポートする学校支援ボランティアの設置などを図り、同窓会や地域と一体となった学校づくりを推進する計画をしています。是非とも、社会でご活躍の皆様のお力をお願いいたします。

クラス会・同窓会開きませんか

古き良き友との再会、せつない思い出、新たためのの出会い…。こんな思いを込めて、クラス会や同窓会を開いてみませんか。事務局までご連絡下さい。通信費相当としてクラス会で5,000円、同窓会で10,000円を補助します。

平成16年度 同窓会 この一年

◆会報発行（4月1日）

「富士森（第9号）」を1万3千部発行。会員に送付。転居先不明で約300通が返戻。

◆入学式（4月7日）

正副会長が来賓として出席。

◆同窓会総会（5月30日）

母校多目的ホールで開催。開催に先立ち、副校長の案内でコンピュータ・ルームやL.L教室、体育館等の学校施設を見学。次いで、吹奏楽部によるミニ演奏会を堪能。その伴奏で参加者全員で校歌を合唱。総会には43名が参加。また、PTAから会長、広報委員の2名の方が来賓として出席。事業報告や会計報告など議事進行後、議案を全員で承認。その後、アジアドのパンと同窓生経営の「稲毛屋」製和菓子をつまみながら、「同窓会の活動」について、懇談。活発な意見交換を行った。総会終了後、会場を近所の和風レストランに移し、懇親会を開催。岡本博先生にも

参加いただき、思い出話に花を咲かせた。

◆文化祭（9月19・20日）

セーラー服や詰め襟の学生服、標準服などの制服を展示したほか、各年度の卒業アルバムや学校行事などの懐かしい写真パネル、同窓生からの近況報告ハガキを展示。また、恒例となった小石幹事による「七宝教室」を開催、キーホルダーや携帯ストラップなどを制作。さらにコーヒーやお茶などの簡単な接待による「ほっとコーナー」を開設し、来場者との歓談の場を提供。

◆PTA役員との意見交換会

学校支援及び組織間の相互理解と協力体制を深めることを目的に数回にわたる意見交換会を開催。母校の持続的発展に向け、お互いに協力しあいながら母校の活動を支援することで意見の一致をみた。

◆クラス会、同期会開催の支援

クラス会の開催に当たり、名簿の提供、通信費の補助などの支援を実施。

◆ホームページの更新・管理

同窓会活動の日常的なPR活動の一環として開催しているホームページ内容の常時更新。

◆卒業式（3月5日）

正副会長が来賓として出席。賞状を授与。

◆賞状を授与

卒業式前日に行われる予行演習時に3年間、無遅刻・無欠勤の生徒16名に賞状として電子辞書を贈呈。

◆吹奏楽部定期演奏会（3月21日）

を支援

いちようホールで開催された定期演奏会の会場費の一部支援及びプログラムへの広告掲載。

◆幹事会の開催

同窓会の円滑な活動を行うため、母校小会議室で毎月第3土曜日の午後1時から5時まで定期的に幹事会を開催。文化祭や総会時には臨時会を開催。

◆名簿の整備・管理

平成16年度新規加入者（240

平成17年度予算(案)

【収入の部】

繰越金	3,469,447
会費	1,600,000
合計①	5,069,447

【支出の部】

運営費	70,000
通信費	50,000
交通費	130,000
総会費	50,000
会報発行費	1,800,000
文化祭費	80,000
ホームページ維持費	70,000
予備費	100,000
合計②	2,350,000
次年度繰越金①-②	2,719,447

平成17年度事業計画(案)

- 4月：会報発行
：入学式出席
- 5月：同窓会総会の開催
- 9月：文化祭参加
- 3月：卒業式出席
- その他、各種行事に参加するとともに会費徴収方法の検討、各部OB会結成への支援

名の更新。住所変更通知、町村合併による住所変更内容の更新。

東京都立富士森高等学校同窓会会計報告（平成15年度）

【収入の部】 (単位：円)

区分	予算	決算	説明
前年度繰越金額	21,874,244	21,874,244	
同窓会費	1,680,000	2,459,160	246名×10,000円 [税込手数料840円]
総会費	0	0	
雑収入金	3,000	16,939	名簿販売、 預金利息等
合計①	23,557,244	24,350,343	

【支払の部】 (単位：円)

区分	予算	決算	説明
運営費	130,000	88,003	貸金庫使用料、 事務用品等
通信費	50,000	43,810	郵便切手、15年度電話、 ファックス代
交通費	160,000	113,340	幹事会参加役員交通 費実費
備品費	0	0	
総会費	50,000	44,122	懇親会費用等
卒業生 記念品代	0	0	
会報発行費	1,610,000	1,607,655	発行費用 (校正印刷郵送料費)
文化祭費	150,000	110,305	七宝焼き講習、 材料代他
クラブ他 支援費	0	0	
卒業生名簿 更新費	50,000	0	
ホームページ 開設維持費	60,000	67,305	ホームページサー ビス利用料
予備費	100,000	10,000	中田様香典
運送費	0	0	
特別会計 (新設)	17,000,000	17,000,000	周年事業基金在校生 同窓会支援金
合計②	19,360,000	19,084,540	
次年度繰越金額 ①－②＝	4,197,244	5,265,803	

【特別会計】

1. 周年事業基金 (単位：円)

区分	予算	決算	説明
周年事業基金	10,000,000	10,000,000	新設
合計	10,000,000	10,000,000	

定期預金残高(No.134588)と一致

2. 在校生支援金

【収入の部】 (単位：円)

区分	予算	決算	説明
一般会計より	3,500,000	3,500,000	新設
預金利息	0	13	利息
合計①	3,500,000	3,500,013	

【支払の部】 (単位：円)

区分	予算	決算	説明
卒業生 記念品代	200,000	213,270	電子辞書・卒業証書 ファイル等
クラブ他 支援費	100,000	62,000	吹奏楽部プログラム 広告代
英語教材支援	0	1,043,700	ネットアカデミープ ログラム補助
合計②	300,000	1,318,970	
次年度繰越金額 ①－②＝	3,200,000	2,181,043	

普通預金残高(No.938241)と一致

3. 同窓生支援金

【収入の部】 (単位：円)

区分	予算	決算	説明
一般会計より	3,500,000	3,500,000	新設
預金利息	0	13	利息
合計①	3,500,000	3,500,013	

【支払の部】 (単位：円)

区分	予算	決算	説明
クラス・ 同期会補助	50,000	0	
合計②	50,000	0	
次年度繰越金額 ①－②＝	3,450,000	3,500,013	

普通預金残高(No.938254)と一致

以上のとおり報告します。

平成16年5月15日

東京都立富士森高等学校同窓会

会長 長谷川 隆 司

会計 馬場 幸 枝

平成15年度決算につき、関係諸帳簿等をそれぞれ精査・
監査の結果、適正であったことを認め、報告します。

平成16年5月15日

東京都立富士森高等学校同窓会

会計監査 松板 章 二

会計監査 館 織 政 研

近況報告

平成16年度総会の開催に際し、旧教職員や同窓生から多くのお便りをいただきました。会場には、近況報告として掲出しました。前号のこのコーナーへの反響も少なくありませんでしたので、今号でも懐かしい方々の近況をお届けいたします。

最近、個人情報保護が強く叫ばれています。同窓会事務局への近況報告ですが、中には公開されたくない方もいらっしゃると思います。会報への掲載を希望されない方は、一言お書き添えください。

教職員の方々から

○小林清純（第十代校長 国分寺市）

ご案内を感謝します。富士森高校を追って、満二十年になります。在校生の進路関係で希望が達せられないよう祈念しております。同窓会の発展を祈ります。

○下田幸次郎（第十二代校長 川崎市）

老齢となりました。出席できませんが、同窓会の繁栄をお祈りいたします。皆さまによろしく。

○小峰英夫（第十三代校長 清瀬市）

在任中の創立五十周年記念行事では、同窓会の皆さまには大変お世話になりました。盛大な記念式典が行われ、その後、六十周年のおりにも参加させていただき、同窓生の方々と親しく接することができ、嬉しく思っております。これからも富士森高校を側面から支え、歴史の一ページ

を飾ってください。所用のため、今回は欠席させていただきます。

○橋本忠良（旧教頭 立川市）

ご連絡有難うございました。都を退職してから北里大学に勤め、六年が過ぎました。富士森高校在職中は、同窓会の絶大なバックアップをいただき、感謝感謝の五年間でした。ご盛會を祈っております。

○大角幸子（社会科 国分寺市）

同窓会報を有難うございます。八七歳になりましたが、元気で日本画を習っています。六月に国立市内の画廊でささやかな展覧会をする予定です。昭和十九・二十年ころ学徒動員で軍需工場で働いた卒業生の方たちに会いたいものと思っています。

○長里繁仁（数学科 市内北野台）

ご案内有難うございました。小生八十四歳。足腰に多少の衰えはありますが、相変わらず、若荷谷の筑波大学分館に毎日通勤し研究団体（六十団体・三十五万人）のお世話をし

ています。教育改革のあり、多忙に迫られています。諸兄のご活躍と母校の発展を見守っております。

○間瀬隆年（数学科 立川市）

能・狂言・歌舞伎・文楽、それに新劇などに二十回は舞台を覗いています。二月に国立劇場で偶然に教え子と出会い、楽屋を案内しました。大阪、京都へは毎月出かけております。

○山本一枝（国語科 市内元本郷町）

昨年、始めてお邪魔しました。見せていただいた施設の立派さ、充実振りに驚きました。同窓会の暮々（りようりよう）たる状態を打開しようとして必死に努力してられる役員のご様子を感じました。ぜひ、今後ともお願いいたします。

○神谷淳子（国語科 市内北野町）

すっかりご無沙汰いたしました。おめでとうございます。この三月、都立南多摩高校を最後に引退し、自分の時間を自由に使える喜びを味わっております。富士森高校には一九七九年から十二年間勤務し、忘れられない思い出がいっぱいあります。皆さまとお会いして当時のことを語り合いたいのですが、都合が悪く出席できず残念です。

○両角倉一（国語科 甲斐市）

会報ご恵送いただき有難うございました。昭和三十五年四月から三十八年八月まで国語科の教諭として勤務させていただきました。今号の写真が懐かしく、山本先生の最近の写

真も嬉しく拝見しました。総会のご盛會を祈ります。

○小田原 栄（国語科 あきる野市）

早いもので、前回の返事申し上げてから、もう一年経つんですね。会報に、私の在職と全く重なった三瓶校長のお便りがあり、大変懐かしく存じました。定年退職して、時間に余裕ができたはずなのに、残念ながら今年も予定が入っており、参加できません。同窓生の皆さん、校長先生をはじめ現職員の皆さまによりしくお伝えください。

○村田 昭（数学科 市内元横山町）

一九八九年に三鷹高校を定年退職し、悠悠自適の生活を送っています。

○石井 清（数学科 市内大和田町）

教育界多事多難のありから、母校の発展をお祈りします。

○三宅博士（英語科 市内長房町）

元気に年金生活をエンジョイしております。貴校のますますの発展を祈ります。

○岩松 清（社会科 市内早見町）

盛岡大学を経て、地元の日本文化大学を退職してから九三年になりました。現在、ダンテの「神曲」を五年がかりで自分なりのペースでのんびり訳しています。

○豊川 絃（社会科 所沢市）

卒業生の顔・顔・顔は、いつも思い浮かびますが、どうも職を辞してからは「八王子」がすっかり遠くなつてしまいました。それでも高尾の桜

